

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
進路選択	2単位 日本語教育能力	日本語教授法 I	矢端晴美	1年次	春

授業のキーワード	言葉と文化 日本語と国語 日本語の音、表記
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	日本人学習者にとっては普段何気なく使っている日本語です。外国語としての日本語という視点から、日本語を再認識します。「国語」ではあまり扱われなかった、他の言語と比較した日本語の特徴や音声を学習します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	日本語教育の基礎段階を学習します。日本語教育、日本語教師に興味のある方は、「日本語教授法Ⅱ」「日本語教授法Ⅲ」「日本語教育能力検定対策講座」とともに受講してください。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	日本文化と日本語 (第1講)	外国人から奇異に見える日本人の言語行動。講師の経験したこと、様々な文献から、お話します。第1回なので、講義全体の内容についても説明もあります。	第9講	日本語の音声 (第3講)	母音「あいうえお」はどうやって音を作って出しているのでしょうか。鏡をみながら検証します
第2講	日本文化と日本語 (第2講)	「あいさつ」って、何のためにするのでしょうか。たとえば日本人なら誰でも言う「おはようございます」の意味とは？またどの国でも言うのでしょうか？	第10講	日本語の音声 (第4講)	日本語の子音「か、さ、た、な、は、ま、や、ら、わ行」の音はどうやって出しているのでしょうか。声門、のど、口の中、鼻、唇をさがしてみましよう。
第3講	日本文化と日本語 (第3講)	外国人にとって奇異にうつる日本語の挨拶表現とは？中国語やタイ語との違いを考えます。	第11講	日本語の音声 (第5講)	「か」と「が」は音を作る際どこが違うのでしょうか。「ん」の音は一つでしょうか。
第4講	言語としての日本語 (第1講)	日本語は他の言語と比べて、本当に難しいのでしょうか？難しいとしたら、どこが難しいのでしょうか？	第12講	日本語の音声 (第6講)	外国人学習者にとって難しい日本語の発音は どういったものなのでしょうか。なぜ難しいのでしょうか。
第5講	言語としての日本語 (第2講)	他の言語と比較して、日本語のルーツ、属する類型、日本語の持つ特徴を考えましよう。1. 性と数 2. 情報の後置性 3. 主語の省略	第13講	日本語の音声 (第6講)	アクセント、イントネーションについて。共通語と群馬方言のアクセントはほとんど同じですが、違うものはないのでしょうか。またアクセントは可のためにあるのでしょうか
第6講	言語としての日本語 (第3講)	外国人学習者にとって習得が難しい、「省略」について考えます。	第14講	まとめ	日本語教授法I全体を振り返る。
第7講	日本語の音声 (第1講)	今まで日本語の「音声」について学習したことはありますか？注意されたことはありますか？コミュニケーションの方法は「音声」だけでしょうか。また「声」を出すとはどういうことでしょうか。	第15講	期末試験	
第8講	日本語の音声 (第2講)	日本語の50音の意味とは？	評価方法		出席10% レポート20% 試験70%
備考 (関連する資格・試験等)		「日本語教育能力検定試験」内容基礎			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識 高見沢孟監修 アスク出版			教えるための言葉の整理 vol1 丸山敬介 凡人社 プリヤーのタイ語会話インカピロム・プリヤー、水野潔著 めこん刊		